



2012年4月入職

い け だ ひ さ し
池 田 尚 史

新しい環境づくりを推進していく

一緒に悩み、安心感を共有していく

私の前職は、システムエンジニアでした。常にプログラムコードと睨めっこする日々を送り、人と接する機会があまりありませんでした。ある日、体調を崩して医療機関を受診しました。医療機関に行くと、安心感があるのはなぜだろうと考えたところ、そこには笑顔とコミュニケーションがあったからだと気づきました。私はその経験から医療業界で働こうと考え、臨床工学技士になりました。

透析の仕事に携わると、患者さまに安心感を持っていただくことは簡単ではありませんでした。以前の仕事で重視していなかった「思いやり」「笑顔」「コミュニケーション」が非常に大切だったからです。そこで研修で学んだことを取り入れ、スタッフの方々を見習ってひたすら努力していましたが、それだけでは不十分でした。ある日、患者さまから「かゆみがひどくてどうにかしてほしい」という声が上がリ、対応策を検討しました。透析において、かゆみや足のイライラ感といった問題は、患者さまの大きな悩みです。かゆみが出るところにクリームを塗ったり、局所的に冷やしたり、文献を調べて透析方法等をいろいろ試し改善していった結果、患者さまから「一緒に考えてくれてありがとう」と声をかけていただくことができました。そこで私は、安心感を持っていただくためには、「一緒に考え改善していくこと」が大切であると感じました。



相談しやすい安心感のあるクリニックへ



今回思いやりエキスパートに選ばれ、ようやくスタートラインに立ったという感じです。より良い医療を提供するためには、患者さまが相談しやすい環境づくりが必要です。そのためには自分自身の知識・技術を向上させることはもちろんですが、研修で学んだ思いやり行動をもっと周知していきたいです。そして患者さま一人一人のニーズに寄り添い、特定のスタッフではなく、クリニック全体として信頼していただけるよう力を発揮していきたいと思っています。私の目標は、スタッフと連携して患者さまが安心して通院し続けられるクリニックをつくっていくことです。

患者さまが気軽に相談でき、
患者さま同士が気軽に相談できる
絆づくりを提供していきます。

池田 尚史